

平成23年度 魅力ある学校づくり推進事業計画書

唐津市立竹木場小学校・第四中学校

1 取り組むテーマ（めざす学校づくり）

「小中連携をとおして、生きて働く学力を身につけた児童・生徒の育成を図る。地域人材の活用をとおして、地域の教育力を引き出し、地域連携の推進充実による活気と活力ある学校づくり」

2 テーマ設定の背景、現状等

本校は、唐津市の南、標高200Mの上場台地の一角にあり、豊かな緑に恵まれた素晴らしい自然環境の中にある。小学校5クラス児童数47名、中学校3クラス生徒数22名、育友会会員数254名、教職員小学校7名、中学校10名の小中併設校である。本校区の家庭のほとんどが兼業農家である。教育に寄せる校区民の期待は大きく、子どもは「校区の宝」として校区民みんなで育てようとする気風が強く残っている。

地域の背景の中において、児童・生徒は、全般的に明るく素直で、礼儀正しく情緒も安定し、集団生活も落ち着いている。しかし、義務教育9カ年間変わらない人間関係の中で生活をしているため、刺激のなさや序列化意識の傾向がある。このことから、自ら進んで取り組む態度や自分の考えをもって、たくましく生きる力が育っているとは言えない。また、良い意味での競争心や自分なりの主義主張を抑えるため、そのことが、学習意欲や学力向上を阻害する一因とも考えられる。

本校は、佐賀県及び唐津市の教育方針に則り、児童の特性と地域の実態を踏まえて、「活気と活力のある学校づくり」をめざしている。社会の形成者として必要な基本的資質を養い、主体的に活動する個性豊かな児童・生徒を育成するためには、子どもにとって学習内容がよく分かり、明るく楽しい活気あふれる学校づくりが求められる。また、一人ひとりの児童・生徒に活力をもたせることが、学校の諸活動に意欲的に取り組む素地となる。そして、学校生活を送る場である学校が活力をもつと考える。また、本校の学校スローガンは、「夢を語って、夢を形に」である。人が生きる上で、夢をもつ大切さについて語る人は多い。しかしながら、学校の教育活動で夢を育むカリキュラムを創造している学校はほとんどない。夢をもった生き方をさせることが、学校の諸活動にチャレンジングに取り組む原動力になると考える。目的意識をもった学校生活の中で、成功体験や失敗体験が、生きて働く経験となり、21世紀をたくましく生き抜く力の素地を培うはずである。

本校のミッションは、小中併設校という利点を生かした小中連携による学力向上と地域連携である。そこで、真の小中連携を推進するために、平成22年度は、小中連携推進12のプランを策定し、それを具体化した小中連携アクションプランを3カ年計画で推進していくことに着手したところである。このプランを実践研究し、成果と課題を明らかにすることが、小1プロブレム、中1ギャップを解消し、小中教職員の意識改革と教師力の向上につながると考える。このことは、佐賀県教育、唐津市教育の発展と充実大きく貢献できると考える。また、地域連携では、子どもは「校区の宝」という気風を大切に、学校は地域の教育の源であるという認識のもと、家庭や地域の教育力の向上を図ることが学校に課せられた課題と言える。子どもたちと校区民が連携して自分の住む地域を思い、愛し、発展していけるような共同体験の場づくりを学校が中心となり実践していくことが、校区民の教育力の向上と地域の活力を育むことにつながると考える。

今後、小中連携と地域連携を積み上げていくことより、「生きて働く学力を身につけた児童・生徒の育成」と「地域の教育力の向上と活力の醸成」を図り、特色ある学校をつくりたいと考えている。近い将来、切木中学校、大良中学校との統合を控え、中学校1校と小学校3校という校区制になるが、本校における実践的研究を核にして新しい学校の創造に結びつけたい。

3 事業期間

平成 23 年 4 月 ~ 平成 24 年 3 月

4 実施内容

(1) 協議・検討のための会議等の設置

主な構成等	人員数	開催予定回数
小中連携推進協議会 担当指導主事、校長、教頭、学力向上コーディネーター、小中連携推進コーディネーター、校内研究主任、地域連携コーディネーター	8名	3回
地域連携推進協議会 有識者、担当指導主事、唐津市教育委員会課長、学校評議員の代表、公民館長、区長会長、育友会長、校長、(事務局)地域連携コーディネーター(本校職員)	9名	3回

(2) 予定している主な調査・研究活動

<p>円滑に小中連携が推進できる教育課程の研究活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実に関わる小中連携をとした本校独自の授業型の実践的研究。 ・中学校教師の専門性を活かした小学校の協働授業への実践的研究。 ・小学校、中学校における各教科の指導内容の系統化の実践的研究。 ・9カ年をとした補充学習時間の充実に向けた実践的研究。 ・小中連携に取り組む先進校視察。 ・夢を育む教育活動のカリキュラム作成に向けての実践的研究。 <p>地域連携に関わる研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動との連携。 ・地域の諸団体との連携。 ・地域の職場と連携した職場体験学習。 ・地域全体でのボランティア活動の連携。

(3) その他、当事業において実施する事項

<p>小中連携に関わり中学校教師に対して兼務辞令の発令。 ホームページによる取組状況の情報発信及び学校だよりによる情報公開。 小中連携フォーラム(研究推進)に係わる講師の依頼。 地域連携教育講演会(地域活性化)に係わる講師の依頼。 スピーチ集会や新聞づくりに関わる専門者の指導助言の依頼。 佐賀大学へ小中連携委推進会議・地域連携推進協議会の委員としての指導助言の依頼。 佐賀大学の教育ボランティアによる学生支援の依頼。</p>

5 教育事務所、佐賀大学、教育センター等の活用計画

実施時期 (月)	協力要請先 支援要請先	協力要請及び支援要請の内容
5月	教育事務所	小中連携に関わる学力向上 「言語活動の充実」の実践研究についての研修
6月	佐賀大学 教育事務所	地域連携推進協議会において研究活動内容についての研修 「地域と学校の結びがつける活気ある地域づくり」の検討

7月	教育センター	学力向上にむけての課題追求と解決策の研修 「全国・県学習状況調査から見た課題追求と解決」
8月	教育事務所 佐賀大学 教育事務所	小中連携に関わる学力向上 「言語活動の充実」の実践研究についての研修 地域連携推進協議会において研究活動 「地域と学校の結びが作る活気ある地域づくり」の実践研修
11月	佐賀大学 教育事務所	小中連携・地域連携フォーラム
2月	教育事務所	小中連携・地域連携のまとめ